

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
オリジナル作品制作2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	西川進			実務 経験	有	職種	ミュージシャンサウンドクリエイター				
授業概要											
J-POPの歌ものを編曲していく上での基礎的な技法を学習してもらう。実際に編曲やトラック制作をしていくところを、ポイントを整理しながら実演していき、自身の作品を作る参考にしてもらう。編曲における「コード進行」「テンションコード」「リハーモナイズ」に関しても取り扱っていく。											
到達目標											
作曲したメロディに対してどのように編曲していけば良いか、総合的な技術を身につけること。編曲者を目指していない生徒にも、自身の作品をいかに「良い作品」として聴いてもらえるよう、デモ制作に関しての技術を身につけること。											
授業方法											
実際に編曲やトラック制作をしていくところを、一曲につき5回に分けて細かく実演していき、「コード進行」「テンションコード」「リハーモナイズ」等も取り上げながらポイントを整理して説明する。細かい質問にも答えていく。きりの良いタイミングで課題も考える。											
成績評価方法											
試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)											
履修上の注意											
専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
西川進オリジナル教材を使う											
回数	授業計画										
第1回	「課題曲1」の編曲やトラック制作実演その1										
第2回	「課題曲1」の編曲やトラック制作実演その2										
第3回	「課題曲1」の編曲やトラック制作実演その3										

2021年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
オリジナル作品制作2	
第4回	「課題曲1」の編曲やトラック制作実演その4
第5回	「課題曲1」の編曲やトラック制作実演その5
第6回	「課題曲2」の編曲やトラック制作実演その1
第7回	「課題曲2」の編曲やトラック制作実演その2
第8回	「課題曲2」の編曲やトラック制作実演その3
第9回	「課題曲2」の編曲やトラック制作実演その4
第10回	「課題曲2」の編曲やトラック制作実演その5
第11回	「課題曲3」の編曲やトラック制作実演その1
第12回	「課題曲3」の編曲やトラック制作実演その2
第13回	「課題曲3」の編曲やトラック制作実演その3
第14回	「課題曲3」の編曲やトラック制作実演その4
第15回	「課題曲3」の編曲やトラック制作実演その5